

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 29 年 6 月 4 日現在

機関番号：14401

研究種目：挑戦的萌芽研究

研究期間：2014～2016

課題番号：26580131

研究課題名(和文) モンゴル時代の漢文資料における非漢語人名表記体系の解明

研究課題名(英文) System of Transcription of the Non-Chinese Personal Names in the Chinese Sources of the Mongol Period

研究代表者

松井 太 (MATSUI, Dai)

大阪大学・文学研究科・准教授

研究者番号：10333709

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 2,700,000円

研究成果の概要(和文)：西暦13-14世紀にモンゴル帝国支配下の中国地域で編纂された漢文資料中にみえる非漢語人名について、その原語(モンゴル語、トルコ語、ペルシア語、アラビア語、チベット語など)表記を同時代の諸言語資料の用例に基づきつつ再構成することを課題とした。特に、モンゴル帝国支配層の中核で主要な文字表記システムとされたウイグル文字による表記形式を重点的に収集しつつ、その漢語音写形式との比較検討に重点を置いた。この作業を通じて、個々の漢字に反映されるウイグル文字を体系的に解明することを目的とした。

研究成果の概要(英文)：This research project aimed at reconstruction of the system of transcription of the Non-Chinese personal names in the Chinese character of the Mongol period from the thirteenth to the fourteenth century.

Special emphasis was put on the correspondence between Chinese forms and the Old Uighur script, which was one of the official scripts among the Mongol ruling stratum.

Main result is a preliminary database of Non-Chinese personal names in the Chinese characters and the corresponding/reconstructed forms in the Old Uighur script retrieved from the Central and Western Asian texts.

研究分野：中央ユーラシア史

キーワード：モンゴル時代 人名 非漢語 ウイグル文字 アラビア文字 チベット語 モンゴル語 トルコ語

1. 研究開始当初の背景

(1) 中国地域の歴史において、西暦13~14世紀のモンゴル時代(元朝時代)は、モンゴル語を日常的に用いる遊牧モンゴル族が漢語文化圏をなす中国地域を支配したという点で特色づけられる。さらに、モンゴルがその支配圏をユーラシア広域に拡大し、その各地を政治的・経済的に統合した結果、モンゴル=元朝支配下の中国地域にも、トルコ語・ペルシア語・アラビア語・チベット語などを母語とする人間集団が流入することとなった。これに伴い、モンゴル語をはじめとする非漢語に由来する種々の術語(人名、部族・氏族名など)が、中国地域において漢字・漢語で編纂された資料にも記録されることとなった。

(2) 主に漢文資料を利用する「伝統中国」史的視点からしても、これら非漢語起源の術語の出現は特異な現象であり、早くから分析が試みられている。しかしながら、特にモンゴル語・トルコ語の個人名レヴェルでの原語の復元は、きわめて不十分な水準にある。これは、モンゴル帝国期のトルコ語・モンゴル語人名についてのデータベースが確立されていないためである。

2. 研究の目的

(1) 本研究では、西暦13~14世紀にモンゴル帝国支配下の中国地域で編纂された漢文資料中にみえる非漢語人名について、その原語(モンゴル語、トルコ語、ペルシア語、アラビア語、チベット語など)表記を同時代の諸言語資料の用例に基づきつつ再構成することを目的とした。

(2) 研究代表者の松井太は、中央アジア・西アジア地域発現の9~14世紀のウイグル文字古代トルコ語・モンゴル語文献の研究に従事している。それらのウイグル文字文献は、多くが13~14世紀のモンゴル時代に属し、トルコ語・モンゴル語を中心に、ペルシア語・アラビア語・チベット語・シリア語などの諸言語から借用された様々な人名を含んでいる。またウイグル文字は、モンゴル帝国により「公用字」とされ、中国地域の行政支配機構においても長らく実用されていた。

(3) そこで本研究では、これら同時代資料としてのウイグル文字表記人名のデータを応用して、漢字表記された非漢語人名の原語の再構形式を集積し、さらに個別の漢字が反映するウイグル文字表記を体系的に解明して索引化することに重点を置いた。

(4) これにより、モンゴル帝国支配下の中国地域で用いられ文献に記録された非漢語の術語(人名、地名、官称号など)の漢字表記形式を原語に再構成し、その歴史的な実態を考察する上での重要な基礎となり得る。

3. 研究の方法

(1) モンゴル時代の非漢語人名のデータ集

としては、従来、『元人伝記資料索引』第4巻(台北:新文豊出版公司,1982)が広汎に利用されているので、その収録データを整理して分析検討の基礎とする。

(2) 松井はウイグル文字モンゴル語・トルコ語資料から、また研究分担者の船田・渡辺・山本および研究協力者の四日市は漢文資料から、非漢語に由来すると考えられる人名表記を抽出して、『元人伝記資料索引』におけるローマ字再構形式と照合のうえ改訂する。

4. 研究成果

(1) 『元人伝記資料索引』第4巻所収の非漢語人名の漢字表記形式とローマ字再構形式(約4,000条)のデータベース化作業を行ない、Excelファイルへの入力作業を完了した。

(2) その上で、松井が中心となり、ウイグル文字表記された諸言語の人名要素に関する知見を利用して、想定されるウイグル文字モンゴル語再構形式をデータベース上に入力した【下図参照】。ここで漢語表記から原語を再構できた人名は約1,800条である。このデータベースを参加メンバーで共有し、漢字とウイグル文字との基礎的な対応関係を確認することができた。

| 真名 | 漢字 | ウイグル文字再構形式 | 元人伝記 | 元人備考 | 語源 |
|------|-------------|-------------|---------------|--------|-------------------------------|
| 1609 | 2421 朮赤 | jöci | joici bai | 太祖長子 | |
| 1610 | 2422 撒思城 | ösöbal | joicgen | 性烈氏 | < Tib. chos dpal |
| 1611 | 2422 撒思城 | ösöbal | joicgen | 性烈氏 | < Tib. chos skyab |
| 1612 | 2422 撒思吉 | ösöki | joicigi | 唐兀氏 | < Tib. chos kyi |
| 1613 | 2422 撒思吉染兒只 | ösöki dorji | joicigi dorji | 唐兀氏 | < Tib. chos kyi rdo rje |
| 1614 | 2422 撒思吉染兒只 | ösöki dorji | joicigi dorji | 唐兀氏 | < Tib. chos kyi rdo rje |
| 1615 | 2423 堅住 | jämu | jämu | | |
| 1616 | 2423 卓馬兒 | jamal | jamar | 回回人 | < AP. čamāl |
| 1617 | 2423 朮赤 | joynan | joquna | 汪古氏 | < Uig. yoxnan << Syr. ywḡn |
| 1618 | 2423 撒里不花 | serig buqa | jorig buqa | 汪古氏 | |
| 1619 | 2423 翰兒馬罕 | ormaqan | jorma qan | 翰兒馬罕 | |
| 1620 | 2423 姜英木 | yūšmud | jošep | | < Uig. yūšmut < Sogd. yw šmbd |
| 1621 | 2424 姜英木 | yūšmud | jošep | | < Uig. yūšmut < Sogd. yw šmbd |
| 1622 | 2424 姜英木 | yūšmud | jošep | 誰作: 漢失 | < Uig. yūšmud << Syr. ywšwḡ |
| 1623 | 2424 姜英木 | yūšmud | jošep | | < Uig. yūšmut < Sogd. yw šmbd |
| 1624 | 2424 姜英木 | yūšmud | jošep | 忽魯兒子 | < Uig. yūšmut < Sogd. yw šmbd |
| 1625 | 2424 姜英木 | yūšmud | jošep | | < Uig. yūšmut < Sogd. yw šmbd |
| 1626 | 2424 姜英木 | yūšmud | jošep | 性烈氏 | < Uig. yūšmut < Sogd. yw šmbd |
| 1627 | 2424 汪温台 | jigundei | jiguntai | 蒙古人 | |
| 1628 | 2424 仲傑 | junbao | junbao | 吳普氏 | 冒弘吉剌氏 |
| 1629 | 2425 中都 | jundu | jundu | 蒙古人 | |

(3) ただし、現時点ではなお再構できない漢字表記が多数残されており、当初予定していた『元人伝記資料索引』所収データの全面的な改訂版の公刊には至っていない。

(4) 松井は、データベース構築と並行して、中央アジア出土古文献資料を材料として、漢字表記されたモンゴル語・古代トルコ語術語や、ウイグル文字表記された漢語・ペルシア語術語の解説・校訂研究を行なった。雑誌論文①③④⑤⑥⑫⑭⑯⑰⑱はその成果である。いずれも、漢字表記から非漢語原語形式を再構するという本研究課題の作業に裨益するものである。

(5) その他、研究分担者は、特に中国に遺存する漢文石刻資料の現地調査を実施し、情報収集に努めた。

(6) 松井が平成27年4月に、また船田が平成28年10月に所属機関を変更した。これに伴い、各自の本務校における業務が多忙化し

たため、研究成果の最終的なとりまとめにはなお時間を要する。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 26 件)

- ① MATSUI Dai, Mazar Tagh Harabesi'nden getirilen Eski Türkçe-Çince bir lügatçe, *Prof. Dr. Talât Tekin hatıra kitabı*, 査読無, Vol. 2, 2017, pp. 679-696.
- ② 松井太, 高昌故城寺院址 α のマニ教徒と仏教徒, 大谷探検隊収集西域胡語文献論叢: 仏教・マニ教・景教, 査読無, 龍谷大学, 2017, pp. 71-86.
- ③ 白玉冬, 松井太, フフホト白塔のウイグル語題記銘文, 内陸アジア言語の研究, 査読有, Vol. 31, 2016, pp. 29-77.
- ④ 松井太, 蒙元時代回鶻佛教徒和景教徒的網絡, 馬可・波羅 揚州 絲綢之路, 査読無, 北京大學出版社, 2016, pp. 283-293.
- ⑤ MATSUI Dai, Uigur-Turkic Influence as Seen in the Qara-Qota Mongolian Documents, *Actual Problems of Turkic Studies: Dedicated to the 180th Anniversary of the Department of Turkic Philology at the St. Petersburg State University*, 査読有, St. Petersburg State University, 2016, pp. 559-564.
- ⑥ 松井太, 大英圖書館所蔵對譯語彙集斷片 Or. 12380/3948 再考, 東方学, 査読有, Vol. 132, 2016, pp. 87-74.
- ⑦ LI Gang, MATSUI Dai, An Old Uighur Receipt Document Newly Discovered in the Turfan Museum, *Written Monument of the Orient*, 査読有, Vol. 4, 2016, pp. 68-75.
- ⑧ 船田善之, 孟津河渡司から沿海万戸府へ: ある水軍指揮官の履歴からみたモンゴル帝国の水運と戦争, 史淵, 査読無, Vol. 153, 2016, pp. 1-30.
- ⑨ 渡辺健哉, 常盤大定の中国調査, 東洋文化研究, 査読有, Vol. 18, 2016, pp. 31-55
- ⑩ 松井太, 敦煌莫高窟・安西榆林窟的回鶻語題記, 西域・中亞語文學研究: 2012 年中央民族大學主辦西域・中亞語文學國際學術研討會論文集, 査読無, 上海古籍出版社, 2015, pp. 210-225.
- ⑪ 船田善之, 從元日外交文書來看大蒙古國公文制度: 與碑刻文書之比較研究, 元史及民族與邊疆研究集刊, 査読有, Vol. 30, 2015, pp. 31-44.
- ⑫ MATSUI Dai, Ürümchi we Qedimki 'Yürünčin' sözi toghrisida, 語言與翻譯 (*Til we terjme*), 査読有, Vol. 2015, No. 4, 2015, pp. 11-15.
- ⑬ 渡辺健哉, 論元代科学的“冒籍”, 考試研究, 査読有, Vol. 2015, No. 3, 2015, pp. 94-103.
- ⑭ MATSUI Dai, Old Uigur Toponyms of the Turfan Oases, *Kutadgu Nom Bitig: Festschrift für Jens Peter Laut zum 60. Geburtstag*, 査読無, Harrassowitz, 2015, pp. 275-304.
- ⑮ 山本明志, 河南省滎陽の金元時代の石刻史料, 歴史評論, 査読無, Vol. 783, 2015, pp. 16-25.
- ⑯ MATSUI Dai, Six Seals on the Verso of Čoban's Decree of 726 AH/1326 CE, *Orient*, 査読有, Vol. 50, 2015, pp. 35-39.
- ⑰ MATSUI Dai, WATABE Ryoko, A Persian-Turkic Land Sale Contract of 660 AH/1261-62 CE, *Orient*, 査読有, Vol. 50, 2015, pp. 41-51.
- ⑱ MATSUI Dai, WATABE Ryoko, ONO Hiroshi, A Turkic-Persian Decree of Timurid Mirān Šāh of 800 AH/1398 CE, *Orient*, 査読有, Vol. 50, 2015, pp. 53-75.
- ⑲ 松井太, 古ウイグル語行政命令文書に「みえない」ヤルリグ, 人文社会論叢 (人文科学篇), 査読無, Vol. 33, 2015, pp. 55-81.
- ⑳ MATSUI Dai, Eski Uyghur hukuk belgelerinde geçen borun ve borunluq üzerine, *From Old Turkic to Modern Uyghur*, 査読無, Kömen, 2015, pp. 89-106.
- 21 MATSUI Dai, Dating of the Old Uigur Administrative Orders from Turfan, *VIII. International Turcology Congress*, 査読有, Vol. 4, 2014, pp. 611-633.
- 22 船田善之, モンゴル (Mongol) 帝国 (大元) の華北投下領研究, 中国史学, 査読有, Vol. 24, 2014, pp. 139-156.
- 23 松井太, 敦煌諸石窟のウイグル語題記銘文に関する箭記 (二), 人文社会論叢 (人文科学篇), 査読無, Vol. 32, 2014, pp. 27-44.
- 24 松井太, ソグドからウイグルへ, アジア遊学, 査読無, Vol. 175, 2014, pp. 261-275.
- 25 船田善之, モンゴル時代華北地域社会における命令文とその刻石の意義: ダーリタイ家の活動とその投下領における全真教の事業, 東洋史研究, 査読有, Vol. 73, No. 1, 2014, pp. 35-66.
- 26 FUNADA Yoshiyuki, The Image of the Semu People: Mongols, Chinese,

Southerners, and Various Other Peoples under the Mongol Empire, 西域歴史語言研究集刊, 査読有, Vol. 7, 2014, pp. 199-221.

[学会発表] (計 12 件)

- ① FUNADA Yoshiyuki, Did Mongolian Language Affect Chinese Language? Focusing on the “Literal Translation Style” Used in Translating Mongolian Documents into Chinese under Mongol Rule, Intralingual Translation, Diglossia and the Rise of Vernaculars in East Asian Classical and Premodern Cultures, 2017 年 1 月 20 日, フランス共和国・パリ: Ecole Française d’Extrême-Orient
- ② 松井太, 黒城出土蒙古語契約文書與吐魯番出土回鶻語契約文書: 黒城出土蒙古語文書 F61:W6 再讀, 首届北方民族古文字研究國際學術研討會, 2016 年 12 月 3 日, 中華人民共和國・呼和浩特市: 內蒙古大學蒙古學學院
- ③ 松井太, 英國圖書館藏蕃漢語詞對譯 Or. 12380/3948 文書殘片再考, 2016 敦煌論壇: 交融與創新: 紀念莫高窟創建 1650 年國際學術研討會, 2016 年 8 月, 中華人民共和國・敦煌市: 莫高窟敦煌研究院
- ④ 山本明志, モンゴル時代のチベットにおける在地氏族と官称号, 京都大学人文科学研究所共同研究班 A「チベット・ヒマラヤ文明の史的展開の学際的研究」, 2016 年 3 月 19 日, 東京都: 立教大学
- ⑤ MATSUI Dai, Network under the Mongol Empire as Seen in the Turco-Mongolian Documents Discovered in Central Asia, Global History Workshop: Globalization from East Asian Perspectives, 2016 年 3 月 15 日, 大阪市: 大阪大学中之島センター
- ⑥ 渡辺健哉, 博士論文になった「正史」: 柯劭忞『新元史』をめぐる, 2015 年度九州史学会大会, 2015 年 12 月 17 日, 福岡市: 九州大学
- ⑦ MATSUI Dai, Uigur-Turkic Influence on the Qara-Qota Mongolian Documents, International Scientific Conference “Languages and Literatures of the Turkic Peoples” Dedicated to the 180th Anniversary of the Department of Turkic Philology at the St. Petersburg State University, 2015 年 10 月 26 日, ロシア連邦・サンクトペテルブルク: サンクトペテルブルク国立大学
- ⑧ 松井太, 蒙元時代回鶻仏教徒和景教徒的網絡, 馬可・波羅與絲綢之路, 2015 年 9 月 18 日, 中華人民共和國・揚州市: 揚州

會議中心

- ⑨ 渡辺健哉, 高麗士人眼中的元大都, 宋代史談話会特別シンポジウム・日台研究交流会「中国近世社会と士人の活動」, 2015 年 8 月 26 日, 大阪市: 大阪市立大学
- ⑩ MATSUI Dai, Uigur Buddhist Pilgrims as Seen in the Wall Inscriptions in the Dunhuang Caves, 2015 Dunhuang Forum: International Symposium on the Role of Dunhuang in China’s Interaction with the Outside World, 2015 年 8 月 14 日, 中華人民共和國・敦煌市: 莫高窟敦煌研究院
- ⑪ 渡辺健哉, 仏教学者常盤大定(1870-1945)の中国調査, 第 17 回山形大学歴史・地理・人類学研究会, 2015 年 6 月 20 日, 山形市: 山形大学
- ⑫ 船田善之, チャガタイの活動とその太原投下領: モンゴル帝国初期の統治層と華北, 七隈史学会第 16 回大会第二部会, 2014 年 9 月 27 日, 福岡市: 福岡大学

[その他]

ホームページ等

<http://osaka-u.academia.edu/DaiMATSUI>
<http://hiroshima-u.academia.edu/FunadaYoshiyuki>
<http://oiu.academia.edu/MeishiYAMAMOTO>

6. 研究組織

(1) 研究代表者

松井 太 (MATSUI, Dai)

大阪大学・大学院文学研究科・准教授

研究者番号: 10333709

(2) 研究分担者

船田 善之 (FUNADA, Yoshiyuki)

広島大学・大学院文学研究科・准教授

研究者番号: 50404041

渡辺 健哉 (WATANABE, Kenya)

東北大学・大学院文学研究科・研究員

研究者番号: 60419984

山本 明志 (YAMAMOTO, Meishi)

大阪国際大学・グローバルビジネス学部・准教授

研究者番号: 707109371

(3) 連携研究者

なし

(4) 研究協力者

四日市 康博 (YOKKAICHI, Yasuhiro)